

## 第2ステージに移行するまでの活動内容

本計画では、これまで第1ステージとして活動してきた内容を踏まえ、「跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整える」ことを主目的とし、第2ステージに移行するまでの活動として以下の9つを設定します。

第2ステージに移行するまでの期間としては概ね3年を想定し、第2ステージへ移行するための達成目標としては以下の5つを掲げます。

### ◆第2ステージに移行するまでの活動内容

継続するもの	すぐ取り組むもの	順次取り組むもの	時期をみて取り組むもの	
①全体計画を周知するための説明会等の開催	④情報提供窓口による情報提供	⑦地主会と若い世代の組織による活動展開	⑤都市計画マスタープラン等上位計画への位置づけに向けた検討	
②情報誌(がじゃんびら通信)やホームページ等による情報発信の継続	⑥若い世代の組織立上げ			⑧第2ステージの活動の方向性の整理
③勉強会や講演会の継続(跡地利用に向けた専門的な検討)				⑨市民、県民フォーラム等の開催

### ◆第2ステージへの移行に向けた合意形成活動達成目標

#### ①全体計画の更なる周知

「全体計画の内容が分からない」「全体計画を知らない」という状況をつくらない

#### ②跡地利用計画づくりに向けた意識醸成

「跡地利用について早急に検討する必要がある」との意識を定着させる

#### ③若い世代の組織の設置

若い世代を中心とした組織の立上げを行い、地主会との協働体制を整える

#### ④土地活用に関する知識の習得

返還後の土地活用について考えられるよう、土地活用に関する知識を習得する

#### ⑤国有地を道路や公園・緑地等の公共用地に充当することの検討

返還後の国有地の活用について、道路や公園・緑地等の公共用地に充当することを検討し、その活用方法の目途をつける

本計画の内容及び那覇軍港返還に関するお問い合わせ・ご相談は下記までおたずねください。

那覇市 総務部 那覇軍港総合対策室  
TEL : 098-861-6906 FAX : 098-861-4092  
E-mail: s-heidan@neo.city.naha.okinawa.jp



那覇軍港地権者等合意形成活動全体計画見直し検討調査業務

# ～那覇軍港跡地のまちづくりの進め方～

平成25年3月 那覇市

## 地権者等合意形成活動全体計画について

### ◆見直しの背景

平成18年度策定の「合意形成活動全体計画」(以下、「全体計画」)から5年が経過し、跡地利用特措法の施行や中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想の策定など、現在の社会情勢や那覇軍港を取り巻く環境も著しく変化したことを踏まえ、これまでの活動に対する評価を行い、今後の跡地利用に向けた合意形成のあり方を検討し、社会情勢等の変化を踏まえた「全体計画」の見直しを行いました。

### ◆本計画の性格

本計画は具体的な跡地利用計画や土地活用方法等を定めるものではなく、将来の跡地利用に向けた取り組みを進めるにあたって、検討する内容や作業の進め方、地権者意向の把握やまとめ方等について、意見交換を重ね共通認識をもって今後の作業手順(合意形成に向けた一連の活動)をまとめた計画となります。

## 今後の合意形成活動における重点項目(「全体計画」見直し方針)

社会動向の整理と「全体計画」の検証を踏まえ、今後の合意形成活動を行うにあたっては、

### 跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整える

ことに重点を置き、「意識醸成」と「組織づくり」に取り組めます。

#### 1 意識醸成

跡地利用の検討にあたっては、今まで以上により多くの地権者が同じ方向を向いていることが重要となることから、多くの地権者が「沖縄が発展していくためにも、次世代のためにも、そして自身の不利益とならないためにも、返還後の跡地利用をしっかりと考えていきたい」という意識を持つようになることを目指します。

#### 2 組織づくり

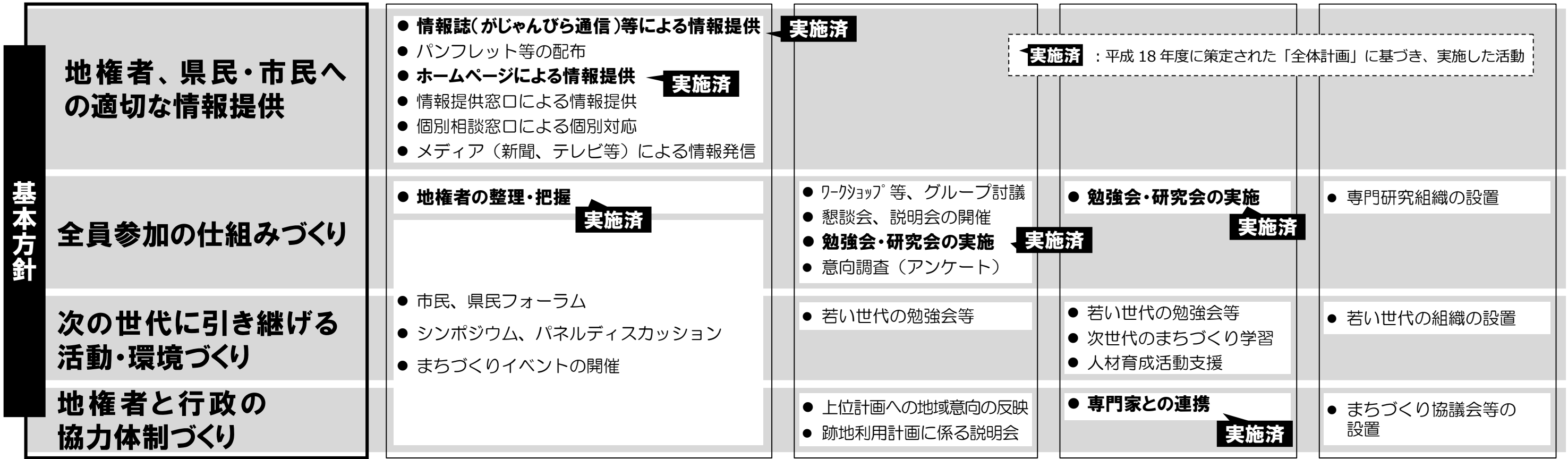
長期にわたる返還に向けた活動を継続して取り組むためには、今から次代を担う若い世代に参加してもらい、育てていくことが重要となることから、若い世代の組織を立ち上げ、継続した検討ができる環境づくりを目指します。

※若い世代とは…年齢に関係なく、地主の次の世代や次々世代を「若い世代」とします。

これまでは「返還の見通し」をひとつの目安としてきましたが、今後は、上記の「意識醸成」と「組織づくり」が達成された時点で、跡地利用計画の計画づくりに進むこととします。

## 基本方針とその実現のための活動メニュー

関係地権者等全体での共通した理念となる合意形成活動を行う上での基本方針とその実現のために取り組む活動メニューを整理します。



## ステージ設定と活動主旨

那覇軍港の跡地利用の実現に向けては、関係地権者等の跡地利用に対する意向把握等、長期にわたる継続した活動を行っていくことが必要となり、その実現までには「跡地利用計画」、「都市計画決定」、「返還」、「事業認可」、「公共施設等の整備推進」といった大きな節目が訪れることとなります。そこで、那覇軍港における合意形成活動の節目を以下の3つのステージ(段階・期間)に分けて考えます。

### ◆第1ステージ(移行期間): 企画構想段階【合意形成活動のための基礎的体制づくり】

那覇軍港の返還時期の見通しに関わらず、跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境が整うまでを第1ステージとし、問題課題に対する対応策を検討するための前提条件の整理や勉強会などを中心に行い、合意形成活動のための基礎的体制づくりを行う期間とします。

### ◆第2ステージ: 跡地利用方針・基本計画・事業計画段階【跡地利用計画策定】

跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境が整った次のステージとして、返還までに行うべき跡地利用の基本方針などを検討し、跡地利用計画を策定する期間とします。

### ◆第3ステージ: 事業段階【事業着手】

返還となり、跡地利用計画に基づく事業の認可や事業を実際に行っていく期間とします。

